

令和6年4月

「耳原総合病院薬剤科 薬剤師新人研修プログラム」

◆薬剤師新人研修プログラム策定の目的

耳原総合病院の理念を理解し、患者さんに安全で良質な信頼される医療を提供するため、知識、技能、態度を総合して、医療者として自立した薬剤師の育成を目的とする。

◆教育方針

医療現場で薬剤師として働く上で、薬の専門家として患者さんの安全を守るため、適切な薬物療法を提供できるような薬剤師の育成を目指す。

また、社会人として、一人ひとりがやりがい、成長を感じながら、お互いを尊重し、患者さんや病院、地域から必要とされる薬剤師の育成を目指す。

◆研修プログラム

薬剤師新人研修プログラムは入職1年間を目安に行う。

基本的には薬剤部内の内規等に関してはOJTとして学習する。

新たな業務の開始は、新人教育責任者、指導担当者が本人の業務定着の状況を見て決定する。

必要に応じて知識の理解確認のテストを行う。

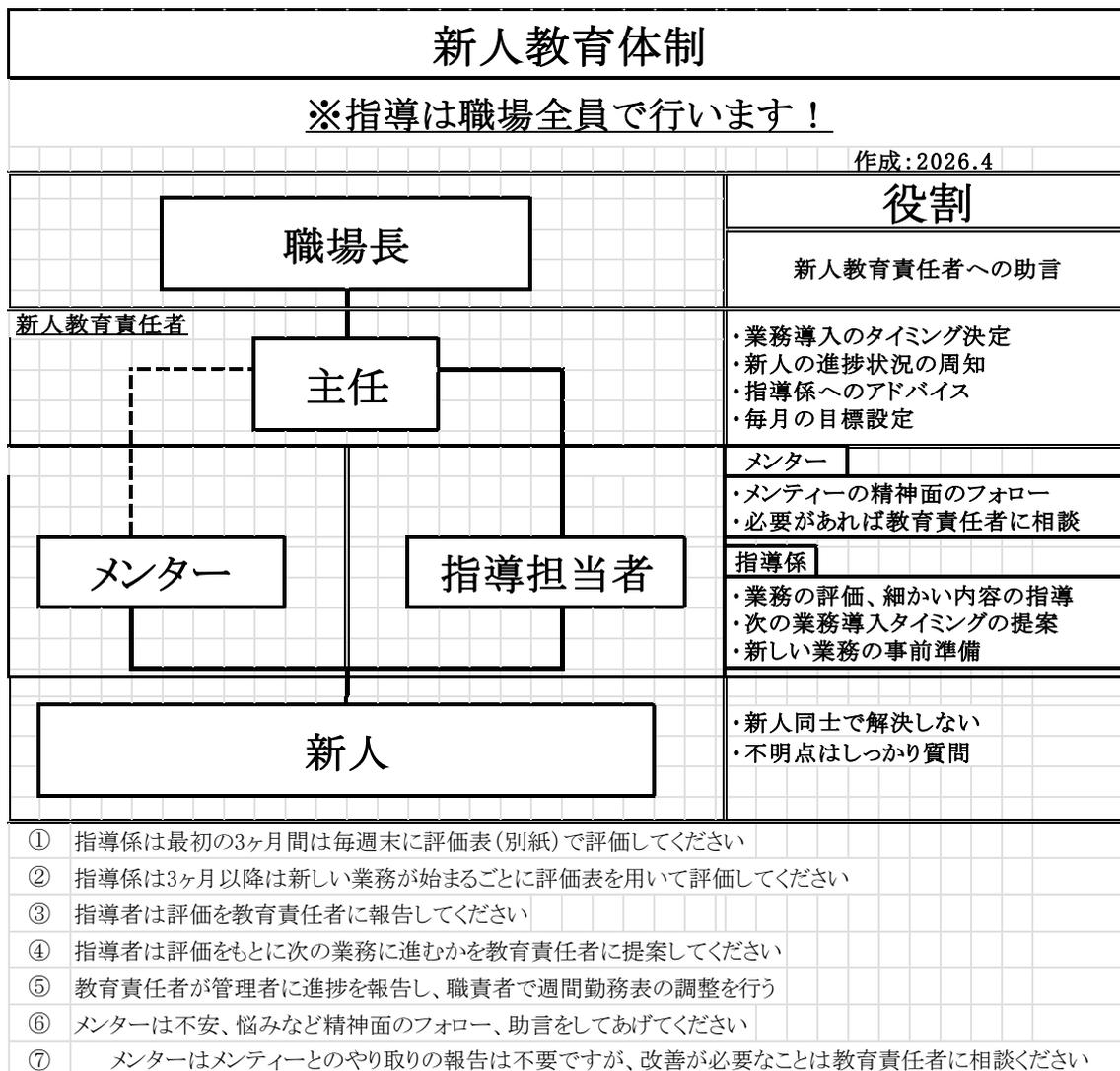
スケジュール	1ヶ月目				2ヶ月目				3ヶ月目				4ヶ月目			
	○/△～				○/△～				○/△～				○/△～			
業務	1週目	2週目	3週目	4週目												
調剤																
注射																
電話対応																
ER患者指導																
処方監査																
無菌調剤（CV）																
CV監査																
持参薬																
麻薬調剤																
調剤室（内勤）																

9月～ 術前指導、監査・注射監査

10月～ 病棟業務

1月～ 抗がん剤ミキシング

◆**研修体制** 以下の教育体制で実施する。



職場長：教育体制の全般を管理する。

主任：教育研修の進歩を管理する。

指導担当：直接的な指導を行う。理解度の確認のため、定期的に振り返りを行う

メンター：精神面でのフォローを行う。

◆**評価方法**

- ・指導担当者は別に作成の評価表を用いて、理解の確認・フィードバックを行う

◆**到達目標**

- ・社会人として業務に取り組む姿勢を実践できる
- ・調剤内規、業務上のルールを根拠をもって説明できる
- ・院内採用薬の基本的な医薬品情報を説明できる
- ・業務上の課題や問題点を発見し、解決していくプロセスを実践できる
- ・患者さんや他の医療従事者から信頼される薬剤師像を概説できる。